



# 災害対策とヘルスケア

## ～能登復興支援を考える～

能登半島地震から一年、救急医療における災害対策の現状とアカデミア・企業の連携課題を探ります。ぜひご参加ください。

令和7年2月20日 木 15:30 - 17:40

会場 富山大学 杉谷キャンパス  
附属病院2階 臨床講義室 1 (オンライン併用)

対象 北陸未来共創フォーラム・ヘルスケア分科会メンバー  
教職員・学生を含む一般 (どなたでもご参加いただけます)



申込みフォーム

### プログラム

15:00～ 受付開始  
15:30～ 開会挨拶

15:35-16:15 特別講演:救急医療と災害対応における産学官連携の可能性

①「能登半島地震での医療チームの派遣とその後の課題」

富山大学 学術研究部医学系 教授 土井 智章

②「ドローンを活用した防災・救急救助体制の可能性(水難・山岳救助)」

富山大学 学術研究部医学系 特命助教 清水 光治

16:15-16:25 質疑応答

16:35-17:15 北陸未来共創フォーラム・ヘルスケア分科会  
活動報告、産学連携での能登復興支援への取り組み

17:15-17:35 意見交換会・交流会  
17:35-17:40 閉会挨拶



## 【講演要旨】

### ①「能登半島地震での医療チームの派遣とその後の課題」

富山大学 学術研究部医学系 教授 土井 智章

能登半島地震は2024年1月1日に発災しており、誰しもが不意を突かれた災害と言える。富山大学附属病院でも年始の災害対応ということで、人材・物品の確保に労力を要した。そのような困難のなかでも、当院はDMAT（災害派遣医療チーム）を1月2日から能登半島へ派遣し、現地での災害活動支援を行った。災害医療では、安全確保や情報管理が優先事項であり、そのような活動を支える技術革新が今後の課題である。

### ②「ドローンを活用した防災・救急救助体制の可能性(水難・山岳救助)」

富山大学 学術研究部医学系 特命助教 清水 光治

能登半島地震を基に総務省消防庁は災害時における迅速な情報収集や対応力強化にドローンの整備促進の必要性を唱えている。今回は、自らの現場経験を踏まえ、ドローンでの防災・救急救助体制（水難・山岳救助）への可能性や、その活用法などをアカデミックな視点も織り交ぜ紹介する。

## 【申込方法】・・・申込期限 令和7年2月18日（火）

(1) 下記のURL又は右のQRコードから、お申込みください。

【申込フォーム】

<https://forms.office.com/r/bEVTkNcxSU>



申込みフォーム

(2) 上記の方法で申込ができない場合は、メールでお申込みください。

①氏名②フリガナ③所属④メールアドレス⑤参加方法（会場・オンライン）

申込メールアドレス：[healthcare@adm.u-toyama.ac.jp](mailto:healthcare@adm.u-toyama.ac.jp)

(3) ウェブ参加をご希望の方に、後日参加情報（URL）をご登録のメールアドレスへ送信いたします。

※参加申込時に記載された個人情報は、本イベントの運営に必要な範囲内で使用します。

※会場参加の場合は、感染症予防のため**マスクの着用**にご協力ください。

## 【会場地図】 富山大学杉谷キャンパス



### <会場へのアクセス>

- ・駐車スペースに限りがあり、患者関係者を優先しております。公共交通機関のご利用をお願いいたします。以下HPをご参照ください。  
[交通アクセス | 富山大学附属病院](#)
- ・お車でご来場の場合は、陸上競技場横の駐車場（赤枠）をご利用ください。ゲート（教職員・学生専用P）で駐車券をお取りいただき、会場受付へご提示願います。
- ・会場（黄枠）へは附属病院エントランスから入り、以下の施設案内又は貼り紙を見てお越しく下さい。  
[施設案内 - 外来受診のご案内 | 富山大学附属病院](#)（2階「24」左手奥）